



有効性タイマーによる CCR-U クォータの抑制

- [機能の概要と変更履歴 \(1 ページ\)](#)
- [機能説明 \(2 ページ\)](#)
- [有効性タイマーが実行されている状態での CCR-U クォータの抑制 \(2 ページ\)](#)

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	<ul style="list-style-type: none">• GGSN• P-GW• SAEGW
該当プラットフォーム	すべて (All)
機能のデフォルト	無効：設定が必要
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	<ul style="list-style-type: none">• <i>Command Line Interface Reference</i>• <i>GGSN Administration Guide</i>• <i>P-GW Administration Guide</i>• <i>SAEGW Administration Guide</i>

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
初版	21.20.16

機能説明

Validity-Time 属性値ペア (AVP) は、主に次の条件で使用されます。

1. Granted-Service-Unit (GSU)
2. Final-Unit-Indication (FUI)

この機能は、Granted-Service-Unit (GSU) のみを処理します。Validity-Time AVP には、GSU が有効である時間が含まれます。Validity-Time の期限が切れた後、新しい GSU を取得するために、更新要求がサーバーに送信されます。

GSU がゼロである場合は、既存の動作で有効性タイマーがまだ実行中であるにもかかわらず、P-GW は、受信するすべてのパケットの更新要求をクレジット制御サーバーに送信します。

この既存の動作が強化され、GSU がゼロであり、有効性タイマーが実行中である場合でも、クレジット制御サーバーに更新要求が送信されません。新しい動作は、Final-Unit-Indication AVP が着信していない場合にのみ有効です。

これは、**suppress-ccru zero-gsu-with-validity-timer** コンフィギュレーション コマンドを使用してアクティビティを制御することで実行されます。

有効性タイマーが実行されている状態での CCR-U クォータの抑制

有効性タイマーが実行されている状態での CCR-U クォータを抑制するには、次の設定コマンドを使用します。

```
configure
  active-charging-service service_name
  credit-control
  diameter suppress-ccru zero-gsu-with-validity-timer
  [ no ] diameter suppress-ccru
end
```

注：

- **suppress-ccru** : P-GW がクォータの CCR-U メッセージの送信を抑制するように指定します。
- **zero-gsu-with-validity-timer** : 有効性タイマーが実行されているときに P-GW が No GSU のクォータの CCR-U の送信を抑制するように指定します。

- **[no]** : 以前に設定されている場合に、CCR-U 抑制 **zero-gsu-with-validity-timer** 設定が無効になることを指定します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。